福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	ヴェオリア・ジェネッツ株式会社　九州支店
所在地	東京都港区海岸 3-20-20
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） 福岡市南区横手一丁目 12 番 48 号
業種	サービス業
電話番号	092-688-9123
ホームページ	https://www.veolia.jp/ja

Well-being 向上に向けた取組み	ストレスチェックを不調者の早期発見のためのツールではなく、従業員個々のセルフケアの促進および職場環境の改善を通じた未然防止のために活用しています。 また、従業員、マネージャー、人事部門および健康管理業務従事者が、それぞれの役割を理解し、状況に応じて適切なメンタルヘルスケアに関する活動を推進できるように情報提供および教育・研修を実施します。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名：ヴェオリア・ジェネッツ株式会社　九州支店

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs															
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等）が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	・ダイバーシティ推進委員会によるキャンペーンや対話、E-Learningを実施している。 ・女性の技術者および女性の管理職を増やし、性別を問わず全従業員にとって働きやすい職場を作ることを目指して、「TSUBAKIネットワーク」を設立した。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・育児、介護休業について就業規則に明記している。 ・デジタル活用を積極的に行い、労働時間短縮等の働き方改革を実施している。 ・年末年始休暇、リフレッシュ休暇の全取得と有給休暇の取得を推進している。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・ダイバーシティ＆インクルージョン、人権に関する委員会を設置している。 ・社内相談窓口の設置。 ・従業員の一人ひとりが能力を発揮できるように、障害者雇用指針を設定している。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・オンラインによるストレスチェックの実施と医師による高ストレス者へのカウンセリングの実施。 ・こころとからだの相談ダイヤルやハラスメント相談窓口を設けている。 ・働き方改革関連法等、関係法令の内容を理解し、従業員（正社員・嘱託社員・パート社員）の公正な待遇を行っている。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・社内業務のオンライン研修の実施。業務の基本となる主要研修を6項目設定し全従業員が受講することをKPIに定めている（2025年KPI）。 ・資格取得への費用負担や支援の実施。 ・高専生インターンシップ受け入れ				○	○			○	○								
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・廃棄物処理指定業者と契約締結し、適正な処理を実施している。 ・ホワイトボード、email、マイボトル等を活用し、ごみの排出量の削減に取り組んでいる。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・クールビズ、ウォームビズの実施。 ・ホワイトボード、email等を活用し、ごみの排出量の削減に取り組んでいる。 ・社内一部ではEV車を導入しており、CO2排出量の抑制に取り組んでいる。 ・経産省の【エコドライブ10のすすめ】の実施。							○					○	○					
	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・社内e-ラーニングやキャンペーンに参加し、生物多様性への理解を深めている。 ・環境に配慮する調達方針						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・自社の使用水量を把握し、節水に努めている。						○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・本社機関による定期的な内部監査の実施によりサービス低下、事故の防止に努めている。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・認知症サポーターの認定と地域の見守り実施。 ・ユニバーサルデザインを考慮したサービスを提供している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報保護マネジメントシステムの認証取得。 ・個人情報保護士の資格取得の推奨。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・HPへの掲示、メールでの配信にて全従業員に法令順守について周知している。 ・全従業員が毎年コンプライアンス研修を受講している。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・PCやスマホを配備し従業員が確認できる環境を整え社内イントラネットを活用し、理念や目標を共有している。 ・年間業績評価にパーパスやバリューの項目が設定されており、従業員が取り組みを設定、評価している。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・災害、感染等に対応したBCPを策定。毎年見直しと更新を行っている。 ・従業員の防災用品、災害備蓄品の設置。									○		○		○			○	